
平成28年度予備試験論文問題解析講座
民事系解説
思考方法レジュメ

れっく **LEC** 東京リーガルマインド



0 001213 160192

LM16019

H28 予備試験 民事系解説 思考方法レジュメ

文責：LEC 専任講師 赤木真也

<民事系実体法の基本方針>

条文・判例等に依拠して、訴訟物を考え、まずは原告側の主張（請求権発生）の要件充足性検討

↓

同様に条文・判例等に依拠し、被告側で、反論（請求権の発生障害、消滅、行使阻止）の要件充足性検討

↓

必要に応じ、再反論、再々反論の検討

その他論述上の一般的注意点

- ・ 解釈論については、規範の結論と理由を端的に示す（結論と整合しない理由付けは有害なので省略した方がまし）。問題提起は任意
- ・ 事案の特殊性から逃げない。特殊な事実について当事者双方の目線から分析
- ・ 抽象的要件へのあてはめでは事実の評価も忘れない

<民訴の基本方針>

問いが多様多様

→結論を左右する原理・原則・条文・判例は何か？と、問い・誘導にべったり寄り添う。

当事者目線も有用

れっく LEC 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2016 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

LM16019